

東海北陸自動車道 管内維持修繕業務 伐採作業 上り69.86KP “蜂刺され” H29.04.03(月)

- 1.発生日時 : 平成29年4月3日(月) 13時55分ごろ
- 2.発生場所 : 東海北陸自動車道 ぎふ大和IC～白鳥IC 上り 69.86KP付近 側道
- 3.概要 : 支障木伐採作業中に作業員が蜂に刺されたもの
- 4.事故内容 : ぎふ大和IC～白鳥IC(上)69.86KP付近において、側道の支障木伐採作業中、作業員が蜂にさされたもの。蜂の種類は、アシナガバチと思われる。右太股を2箇所されたもの。被災者は現地にて吸引応急処置後、近隣の病院で受診し、注射による治療を受け軽症「体に異常なし」との診断。また、本日は、医者からの指示もあり自宅へ帰宅。

5.被災者:



6.時系列

- 13:55 現場より発生第一報の入電。付添者と作業車両にて病院(病院)へ搬送
「当人は意識はしっかりしており、体の異常は無く体調は良好、刺された箇所が少し痛む程度」
現場でポイズンリムーバーによる応急処置済み。作業中止を判断。
- 14:00 メンテ事業所から、HSC保全計画へ事故発生第一報の連絡
- 14:15 病院着 被災者受診開始
- 14:40 診察終了(体に異常は無く、注射により治療) 軽傷との診断。被災者は自宅へ帰宅
- 14:55 メンテ職員 現場着(現場状況確認) 作業箇所付近に蜂は飛んでいないことを確認。
- 15:35 メンテ職員 現場離脱。

7.位置図



8. 蜂刺され状況



作業箇所



作業状況

ポイズンリムーバーによる応急処置を実施
応急措置(ポイズンリムーバー)

DETAILS : 商品詳細

強力吸引で毒液や毒針を抽出

- 蜂や虫刺されの痛み、腫れを速やかに軽減。毒液や毒針を吸引し、刺れ跡を清潔に保ち、虫刺されの痛みを軽減。同時に虫刺されの毒液や毒針を吸引し、刺れ跡を清潔に保ち、虫刺されの痛みを軽減。
- 強力吸引で毒液や毒針を抽出。スポンジ吸頭により、刺れ跡の毒液や毒針を強力に吸引し、刺れ跡を清潔に保ち、虫刺されの痛みを軽減。
- ポイズンリムーバーの主な対象種。ハチ(アシナガバチ、アゲハチ、クマバチ、スズメバチ、コチロバチ、アゲハチ、クマバチ、スズメバチ、コチロバチ、アゲハチ、クマバチ、スズメバチ、コチロバチ)。



9.対策(案) ※以下の内容を明日朝の緊急安全大会で、作業員へ周知徹底する予定。

- ①作業前に全作業員で蜂等の害虫の有無を目視確認する。
- ②雑草が繁茂している箇所はポールで蜂等のがいないか探索する。
- ③作業員は白や黄色等の明るい色を着用する。
- ④蜂防護手袋（白色）、作業靴の黒色を隠すための白の脚絆を着用する。